

レポートの書き方・引用方法など

高田好章

○レポートの書き方の例

・テーマの暫定的な設定

与えられた出題に対して課題を、または書きたい課題を探し、テーマを暫定的に設定する。

例 

日本人の食べ物について、ある食べ物を取り上げて、その現状を述べよ。
-----------------------------------

  
 暫定テーマ 

カレーの歴史と現代
-----------

・課題の設定： ある程度、課題、問題点と結論を推測する。

例 

カレーはインドの文化である。
----------------

・必要文献を調べる、著書、論集、論文、新聞、雑誌、事典 図書館、インターネット

・引用文、図、表

\*昔は カード：京大カード（B6横）を使う

\*今は 抜き書き：ワードを使う コピー 切り抜き

問題点・課題があれば、書き込む 色を使う・青：重要点、課題 赤：問題点、反論点  
 文献に取り上げられている新たな文献の列挙：緑

・重要点、課題、問題点、反論を整理する。必要あれば、そこから新たな必要文献を調査する。

・カード・抜き書きの列挙と整理、対象の絞込み、取捨選択、課題と問題点の抽出、重要度の順序付け

・テーマの確認あるいは再設定

例 

日本のカレーについて
------------

・ある程度の結論部分の書き込み、レポート全体の目安を書き込む。

・課題の見直し

例 

カレーライス日本の文化である
----------------

・執筆へ

問題提起	日本人が一番好む食べ物は何か
課題設定	カレーは日本でどのように変わったのか
事例叙述	カレーの日本での生産量と売上額
問題点の取り上げ	カレーライスかライスカレーか
問題点の解決	どちらも同じものであった。
課題の解決	インドのカレーは日本で違うカレーライスになっていた
結論	カレーライスは日本の文化である
残された問題点と課題	甘口と辛口のカレーはどのように違うのか

・テーマの最終確定または再設定

例 

日本のカレーライスについて
---------------

・全体の見直し ・結論部分の見直し ・書き込み、書き直し ・完成

○引用の方法

・引用文： 文章を「 」にくくって、引用する

例 

「カレーライスは、ライスカレーとも呼ばれている」
--------------------------

・引用文献等の表示

1) 本文中に引用文献等を書く

例 

「カレーライスは、インドが発祥の地であると、これまで言われてきた」（辛井華麗『カレーライスの話』印度書店、2005年、25頁）。この説に疑問を持ったことはなかった。
--

2) A方式：

注番号をつけて、ページ下、あるいは最後に列挙する。また論説の補足文も同じ注番号をつけて書く。

例 

「日本で食べられているカレーライスは、インドのカレーとはまったく違ったものになってきた。日本では、米のご飯にカレーをかけるのかカレーの一般的な姿だ」 <sup>1)</sup> 。しかし、インドに行ってみると、ご飯ではなくナンにつけて食べるのが、一般的だった。 <sup>2)</sup>
--

注

1) 辛井華麗『カレーライスの話』印度書店、2005年、32頁

2) ナンは、アジアの各地で食べられている主食である。

\*引用文献の種類別表示方法

- ・文献： 著者名『書籍名』出版社名、発行年、引用頁

例 辛井華麗『カレーライスの話』印度書店、2005年、25頁

- ・論文： 著者名「論文名」編者名『書籍名』出版社名、発行年、引用頁

例 辛井華麗「カレーの起源」（甘口太郎編『カレーの旅』具多書房、1994年所収）、32頁  
辛井華麗「カレーとインド」（『中辛大学食品論集』第2巻3号、2004年5月）、23頁

- ・新聞・雑誌： 『新聞名』年月日 『雑誌名』発行年月日

例 「カレー新聞」2005年5月15日  
「カレー評論」2004年5月号

- ・同一文献等の表示方法

- ・直前と同じもの：同上
- ・既に表示しているもの： 前掲『書籍名』

例 同上33頁 前掲『カレーライスの話』26頁

3) B方式：

文中に文献名[発行年]ページ数を示し、文献は最後に列挙する。なお論説の補足文は注番号をつける。

例 「日本で食べられているカレーライスは、インドのカレーとはまったく違ったものになってきた。日本では、米のご飯にカレーをかけるのが一般的な姿だ」（辛井華麗[2005]32ページ）。しかし、インドに行ってみると、ご飯ではなくナンにつけて食べるのが、一般的だった。<sup>1)</sup>

注

1) ナンは、アジアの各地で食べられている主食である。

文献

辛井華麗[2005]『カレーライスの話』印度書店

\*引用文献の種類別表示方法

- ・文献や論文は著者名[発行年]で、論説の最後に列挙し、文中の引用では著者名[発行年]ページ数とする

- ・文献： 著者名[発行年]『書籍名』出版社名

例 辛井華麗[2005]『カレーライスの話』印度書店

- ・論文： 著者名[発行年]「論文名」編者名『書籍名』出版社名

例 辛井華麗[1994]「カレーの起源」、甘口太郎編『カレーの旅』具多書房  
辛井華麗[2004]「カレーとインド」『中辛大学食品論集』第2巻3号、5月

- ・新聞・雑誌： 文中に置く 『新聞名』年月日 『雑誌名』発行年月日

例 「カレー新聞」2005年5月15日  
「カレー評論」2004年5月号

○図・表の引用・表示

図表番号を付け、出典を図表の下に表示する。オリジナルの場合は、何によって作成したか表示する。

例 表5 カレーライスの好き嫌い

種類	好きな人	嫌いな人	どちらとも言えない
甘口	35%	21%	44%
辛口	29%	32%	39%

出所： 食品研究所編『カレー年鑑』2003年版、501頁

○論説の補足などの、注のつけ方

論説中に注番号をつけて、ページ下、あるいは論説の最後に列挙する。

○参考文献

一番最後に、論説執筆の際に参考になった文献を掲載する。必ずしも必要ではない。